

不確実性が高まる経営環境下における： 「経営インテリジェンス機能」の 構築・高度化への課題と解決への施策

■ 日 時 ■ 2017年 10月 10日 火曜日 13:30 ~ 17:00

■ 会 場 ■ 東京・麹町・企業研究会 セミナールーム

■ 講 師 ■ 株式会社 野村総合研究所

コーポレートイノベーションコンサルティング部 プリンシパル 森沢 徹 氏
産業ITコンサルティング部 上級コンサルタント 根岸 正州 氏
《講師プロフィール・講義プログラムは裏面をご参照ください》

■本セミナー開催の背景・ポイント■

野村総合研究所では、経営環境のトレンド変化が自社に与える影響分析など、顧客や市場、政治、経済、社会、技術に関する情報を、経営陣が活用できるかたちに分析・編集した情報・知見を「経営インテリジェンス」と呼んでいます。そして、その情報・知見を生み出す活動を「経営インテリジェンス機能」と呼んでいます。

経営環境の不確実性が増す中で、たとえば、リーマンショック、英国のEU離脱、米国新政権誕生、新興国での政権交代、予想外の業界再編、デジタルマーケティングの急速な進展などの、重要な変化を迅速に捉え、適応していくための指針と実行力が益々求められています。

本セミナーでは、欧米有力企業に見れる「経営インテリジェンス機能」の実態を詳細に事例研究し、日本企業のインテリジェンス機能に関する実態を最新のアンケート調査結果より明らかにすると同時に、同機能の構築・高度化に向けた第一歩について、実際に日本企業支援の現場で蓄積したノウハウ・知見を下に分かりやすく解説します。

■ご参加いただきたい方々■

経営層（トップ、役員）、経営企画・経理財務・人事人材・IT部門などにご在籍の皆様で：

- ・昨今の外部環境変化に翻弄されグローバル本社機能のインテリジェンス機能強化について悩んでいる方
- ・IoT、AI等めまぐるしい技術進化の並を自社の経営判断にどう活かすかについて問題意識をお持ちの方
- ・経営向けにグローバルでのアナリティクス（分析）チーム立ち上げに関わられている方
- ・グローバル競合の欧米企業との業務運営の根本的な思想のギャップを痛感している方

●参加要領●

●受講料● 1名（税込み、資料代含む）

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●弊社ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

企業研究会セミナー

検索

- お申込み後（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- 申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の操作方法（O発信の有無など）をご確認の上、FAX番号のお間違えにご注意ください

一般社団法人 企業研究会

担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp

102-0083 千代田区麹 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3513 FAX: 03-5215-0951

弊社ホームページからのお申込みが便利です。https://www.bri.or.jp

171622-0109※	2017・10・10 経営インテリジェンス機能の構築・高度化・施策		
会社名			
住所	〒 —		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ		
	お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ		
	お名前		
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■講師プロフィール■



森沢 徹 (もりさわ とおる)

1991年 早稲田大学大学院理工学研究科 電気工学専攻修士課程修了。同年、野村総合研究所入社。経営戦略、業績評価管理、CSR、グローバル経営システム構築、本社機構改革などのコンサルティングに従事。1996年ハーバード・ビジネス・スクール経営学修士(MBA)取得。R. S. カプラン教授に師事。現在、野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部 プリンシパル。

<主な著書>

『グローバル本社機能の再構築』(NRI 知的資産創造、2012年12月号)
『2010年日本の経営 ～ビジョナリー・エクセレンスへの地図～』(共著、東洋経済新報社)
『実践バランス・スコアカード』、『バランス・スコアカードの経営』(共著、日本経済新聞社)
『金融機関のABCマネジメント』(共著、東洋経済新報社)



根岸 正州 (ねぎし まさくに)

2001年 早稲田大学理工学部複合領域コース卒業、2003年 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻卒業。同年、野村総合研究所入社。経営戦略策定、グローバルでの経営管理、ガバナンス・組織改革、デジタル分析チームの組織設計、CSR/CSV等のコンサルティングを行っている。併せて、企業再生案件での経営者経験を経て、現在、(株)野村総合研究所 産業ITコンサルティング部 上級コンサルタント

<主な著書>

『グローバル製造業における経営パラダイムの変化とIT～デジタルエンタープライズへの道』(NRI 知的資産創造、2016年4月号)
『ASEAN 地域における「日流流通インフラ」の展開の可能性』(NRI 知的資産創造、2013年12月号)
『エグゼクティブチームによる経営改革』(NRI 知的資産創造、2005年1月号)
『ワークフォースマネジメント(WFM)革新 現場の属人主義からの脱却』(NRI 知的資産創造、2011年12月号)

●プログラム●

13:30 ~ 13:45

1. なぜ、今、「経営インテリジェンス」機能の強化が求められているか？

- ・不確実さを増す外部環境変化
- ・グローバル化の進展とともに「見えない化」が進む内部経営環境
- ・「経営インテリジェンス」が支援する3主要機能(認知、分析、判断)
- ・これら3機能不全が引き起こす経営判断のエラー、不祥事、ゴーイングコンサーン消滅

13:45 ~ 14:15

2. NRI が提唱する「経営インテリジェンス」とは何か？

- ・まず経営情報の「見なくなる化」から
- ・経営インテリジェンスとは何か。何をどのように強化するか。
- ・平時の KEI(Key Environmental Indicators) 含めたマネジメントと有事のクイックアラート(注意喚起)

14:15 ~ 15:00

3. 国内外の優良企業事例

- ・週次の経営会議を抜本変革した P&G
- ・メガトレンドを自社流に取り込んだシーメンス
- ・展開先市場のセミマクロ経済リスクを読み込んだ食品メーカーX 社 ほか 多数

15:00 ~ 15:15

<休憩>

15:15 ~ 16:00

4. 日本企業の「経営インテリジェンス」機能の実態と示唆(NRI アンケート調査より速報)

- ・平均的な日本企業と「経営インテリジェンス 3.0 企業」との違い
 - －企画スタッフが提供する経営情報の「視聴率」の特徴
 - －経営情報の最重要ユーザーの社長の時間の使い方の特徴 など
- ・今後の改革の方向性に関する示唆

16:00 ~ 16:40

5. 経営インテリジェンス機能強化の「第一歩」

- ・「第一歩」のはじめ方:
 - －成功要件1:経営情報の「見なくなる化」の仕掛け
 - －成功要件2:経営情報ユーザーのリテラシーの高度化
 - －成功要件3:BI ツールの整備と経営分析スタッフによる活用促進
 - －成功要件4:バイアスを排除した「場(会議体)」づくりと演出
 - －成功要件5:意思決定者に付与すべきインセンティブとコミットメントの誘発 など

16:40 ~ 17:00

<質疑応答 & アンケート記入>

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。